カリキュラム・ツリー＜令和7年度入学生＞

生活文化学科　食物栄養専攻［令和8年度　第2学年］

【教育目的】
幅広い教養と生活に関わる各専攻分野の知識・技術・実践力を有し、柔軟かつ主体的に社会貢献できる女性を育成する。

【教育目標】
栄養士としての役割を理解し、「食」と「健康」に関する知識・技術と教養を有し、食育の推進と健康の維持増進の担い手となる人材を育成する。

学習成果

基礎科目

建学の精神に基づいた女性を目指す
以下の能力を身につけた女性になることができる

- **知識を身につけ、理解を深める能力**
  専門分野の基礎となる知識を身につけ、社会に対応し、地域に貢献していくための基本的な知識の理解
- **思考力・判断力を身につけ、表現する能力**
  専門分野を学ぶための基礎となる思考力や判断力、表現力
- **技能（能力）**
  専門分野を学ぶ基礎となる技能及び社会生活の基本となる技能と必要なコミュニケーション能力
- **専門分野への関心を持ち、意欲的に学ぶ態度（能力）**
  基礎教育と専門分野を、社会的役割と結びつけてとらえ、関心と意欲を持って、主体的に取り組み学ぶ態度

K

- **社会人の基礎となる力（能力）**
  社会で活躍するために求められる知識や教養の修得、及び社会で活躍できる女性として生きる力

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
			日本国憲法	
		基礎数学		
	英語演習Ⅰ	英語演習Ⅱ	英会話Ⅰ	英会話Ⅱ
	韓国語Ⅰ	韓国語Ⅱ		
		海外研修		
	ICT教育演習Ⅰ	ICT教育演習Ⅱ		
		スポーツと健康Ⅰ		スポーツと健康Ⅱ
K	キャリアプラス（2年間）			
K	キャリアチャレンジⅠ（通年）		キャリアチャレンジⅡ（通年）	

専門科目

栄養士としての役割を理解し、「食」と「健康」に関する知識・技術、食育の推進と健康の維持増進の担い手となる

A
社会生活と健康について学ぶ(能力)
社会や環境と健康との関係を理解するとともに、保健・医療・福祉・介護システムの概要について理解することができる

B
人体の構造についての能力
人体の仕組みについて構造や機能を理解し、食事、運動、休養などの基本的生活活動や環境変化に対する人体の適応について理解することができる

C
食品と衛生についての能力
食品の各種成分の栄養特性について理解するとともに、食品の安全性の重要性を認識し、衛生管理の方法について修得することができる

D
栄養と健康に関する能力
栄養とは何か、その意義と栄養素の代謝及びその生理的意義を理解するとともに、性、年齢、生活・健康状態等における栄養生理的特徴及び各種疾患における基本的な食事療法について修得することができる

栄養指導に関する能力
個人、集団及び地域レベルでの栄養指導の基本的役割や栄養に関する各種統計について理解するとともに、基本的な栄養指導の方法について修得することができる

E
給食の運営に関する能力
給食業務を行うために必要な食事の計画や調理を含めた給食サービス提供に関する技術を修得することができる。また、給食業務に関するコンピュータを用いた情報処理の方法についても修得することができる

F
食育の推進と健康の維持増進の担い手となる（能力）
食育基本法に基づいた、栄養の指導を実践するために必要な食育に関する知識と技術、また健康の維持増進の担い手となるための食育実践法についても修得することができる

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
		社会福祉		公衆衛生学
				衣食住生活概論
			卒業研究（通年）	
B	解剖生理学			
B	解剖生理学実験			
B	医学一般			病理学
B		生化学		生化学実験
C	食品学Ⅰ	食品学Ⅱ		
C		食品学Ⅰ実験	食品衛生学	食品衛生学実験
D	栄養学Ⅰ			栄養学Ⅱ
D				栄養学実習
D				スポーツ栄養学
D		臨床栄養学Ⅰ	臨床栄養学Ⅱ	
D		食物アレルギー演習	臨床栄養学実習	
D		栄養指導論Ⅰ	栄養指導論Ⅱ	公衆栄養学
D		栄養指導論実習Ⅰ	栄養指導論実習Ⅱ	
E	調理学			
E	調理学実習Ⅰ	調理学実習Ⅱ		調理学実習Ⅲ
E	調理学実験			製菓・製パン実習
E		給食管理論Ⅰ	給食管理論Ⅱ	
E			給食管理実習Ⅰ	
E			給食管理実習Ⅱ	
E	フードビジネス概論	フード＆テーブルコーディネート演習		
F			食育実践演習	
F			保育学	
F	教職概論	教育心理学	教育の方法及び技術	特別支援教育
F	教育原理	道徳及び特別活動の指導法	生徒指導論	栄養教育実習
F	教育関係法規・教育課程の意義及び編成の方法		学校栄養教育概論	教職実践演習（栄養教諭）
F			栄養教育実習事前事後指導	